



明智町

成瀬 あいさん (47歳)

□プロフィール

岐阜市生まれ。中学生と高校生の息子を持つ母。趣味・特技は、中学時代から続けているトランペットの演奏。現在は、町内のイベントなどで演奏する他、市外のママさんブラスグループにも所属して活動中。英語力を保つために、スマートフォンの言語設定を英語にしたり、30分間の通勤時間に英語でニュースを聞いたりしている。座右の銘は「強行突破」。



市国際交流協会ウェブサイト



▲MM3と児童生徒との交流会で通訳する成瀬さん(右)

翻訳アプリやAIの進化で、言葉の壁は低くなりつつある。それでも「人と人のリアルな交流をサポートしたい」と語るのが、市国際交流協会事務局長の成瀬さんだ。小学生の頃、シャーロック・ホームズなどの推理小説が好きで英語に関心を持った。高校生の頃にイギリスへ短期ホームステイを経験し、大学は英語英文学科へ。1年間の留学、大学院を経て、結婚を機に恵那市に移り住んだ。自宅で英語教室を開く中、知人から声を掛けられ、39歳で現職に就いた。同協会は、日本語教室の運営や通訳派遣、外国人児童生徒の日本語支援、多国籍料理教室などの交流事業を行う。県ポランド交流協会の事務局も担い、同国と市の交流を支えている。成瀬さんは、自ら現場に向く他、コーディネート役を務める中心的存在だ。市内では外国人住民が年々増加し、国籍もさまざま。「外国人は英語を話す」という考え方は、通

用しないという。そこで成瀬さんが力を入れるのが「やさしい日本語」の普及だ。難しい言葉を簡単な言葉に言い換え、短く、あいまいさを減らした日本語は、誰にでも分かりやすい。本年2月、市内で初めて「やさしい日本語研修会」を開催。外国人を雇用する企業などから参加があり、好評を得た。「活動する中で大切にしているのは、相手の話をよく聞き、相手の立場に立って考えること。日本語が分からず不安を抱えていた外国人児童をサポートし、その子が少しずつ自信をつけてクラスに溶け込んでいった姿は、今でも心に残っている」とほほ笑む。成瀬さんが思い描くのは、日本人も外国人も共に安心して暮らせるまち。「外国人だからと身構えず、一人の人として接してほしい」と呼びかける。言葉や文化の違いを越え、互いに理解し合える地域を目指して、成瀬さんは人と人が心を交わす一歩を後押しする。

多文化共生の架け橋に やさしい日本語で、人と人をつなぐ

News & Topics

まちのわだい

市のホットなニュースを紹介！

その他の話題はこちら▶



5/12-13 満員御礼！
ポーランドバンドが歌舞伎小屋で演奏

ポーランドのバンドMM3が五毛座と宮盛座で公演。県内外から訪れた観客は、朴葉寿司や五平餅を味わいながら演奏を楽しみました。MM3は、地元の児童生徒らとも交流しました。



5/3 光秀になりきって
光秀まつり

明智町で恒例の光秀まつり・ちょっとおんさい祭りを開催。今回初めて、公募で選ばれた3人が武将役を務めました。



5/16 豊作を願って
次米お田植え祭り

恵那の里次米お田植え祭りに約400人が訪れました。唄に合わせ踊りが披露され、早乙女たちは手植えで苗を植えました。



5/20 おいしいお米が
できますように

中野方小5・6年生が、坂折棚田で毎年恒例の田植えを行いました。今後、草取りや稲刈りまで、一連の米作りを体験します。



5/25 消防団員と一緒に
プール掃除

三郷小5・6年生と三郷分団員がプール掃除を実施。児童らは、火災現場で使用するホースの威力に驚きながら、楽しく掃除しました。



5/27-28 演技ワークショップで
新しい仲間と交流

ホリプロ㈱と連携した演技ワークショップを恵那南中で開催。秦秀明さん指導のもと、仲間と協力して取り組み、コミュニケーションの輪が広がりました。

おめでとうございます！

本年、農林水産大臣賞を受賞したのは、山一寒天産業㈱の西尾有揮さん。会場には良質な寒天が並びました。



5/22 県寒天展示品評会
表彰式